

浜松市中区の静岡文化芸術大で6日、同大の学生による企画・運営で落語家桂文治さんの落語会が開かれた。

桂文治さん 軽妙な話芸

静岡文化芸術大で落語会

11回目、学生が企画・運営



軽妙な話芸を披露した桂文治さん

＝浜松市中区の静岡文化芸術大

学生や地域住民ら約50人が、軽妙な話芸に聞き入った。文治さんは「松山鏡」

「葉缶」など3席を演じた。落語界のエピソードや時事ネタも取り入れ、大きなしぐさや情感豊かな語り口で観客を沸かせた。

落語会は今年で11回目。地域課題への理解を深める同大の授業「地域連携演習」の一環として開いている。

実行委員会の代表を務めた芸術文化学科2年の福富梢さん(19)は「準備は大変だったが、会場が温かい雰囲気になりました」と話した。

